

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領	期末配当金については3月31日
株主確定日	中間配当金については9月30日 (当期は中間配当を実施していません。)
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8082 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
証券・銘柄コード	7458

<お知らせ>

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。
2. 当社は、貸借対照表及び損益計算書並びに連結貸借対照表及び連結損益計算書を当社ホームページ (<http://www.dkkaraoke.co.jp/>) に掲載しております。



ECHO

Vol.24 第33期 中間決算のご報告
2007年4月1日～2007年9月30日

CONTENTS

企業CM/株主の皆様へ/第一興商グループ 事業ドメイン/セグメント別概況/連結決算概要/単体決算概要/株式の状況/会社概要/DK プロモーション

うたう未来へ――

ヒトはなぜうたうのでしょうか。

嬉しいときも、
悲しいときも、
ヒトはうたいます。

うたは思いを伝える
最高の表現だからです。

私たち
第一興商は、
うたのすばらしさを
もっともっと
伝えていきたい。

だから、
うたの原点を大切に
そして、未来に向かいます。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第33期中間期（2007年4月1日～2007年9月30日）の決算をご報告いたします。

当社グループは、カラオケのリーディングカンパニーとして業界を牽引してまいりました。また、音楽・映像エンターテインメントの発信やダイニング業態による魅力的な飲食と空間の提供などを連携し、社会に明るさを届けるべく全力で事業を展開しております。

今後も当社グループは、強みであるカラオケ事業を中心に「うた」の持つ楽しさや明るさを、未来へとつないでいく…「うたう未来」へ向って邁進し、企業価値の更なる向上を目指し努力を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、原油高のほか米国のサブプライムローン問題の影響はあったものの、好調な企業収益を背景に設備投資の増加や雇用情勢の改善などから、景気は緩やかな拡大基調で推移いたしました。



代表取締役社長

和田康孝

当カラオケ業界におきましては、クラブ・スナックなどのナイト市場では未だ厳しい状況が続いているものの、カラオケボックスなどのデイ市場では集客が回復し、収益が改善するなど明るい兆しが見えてきております。

このようななか、当社グループは、本人映像やライブ映像などの高品質なコンテンツを搭載した新商品「プレミアムDAM（DAM-XG1000）」を発売し、商品の販売及び賃貸の拡大に注力するとともに、業務用ネットワークのブロードバンド化を進めてまいりました。また、カラオケルームと飲食店の複合型店舗展開を進め収益の向上に努めるなど、各事業へ積極的に取り組み、業容の拡大と収益の増大を目指してまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は、カラオケ・飲食店舗事業は増収となったものの、業務用カラオケ事業の減収により62,188百万円（前年同期比1.6%減）となりました。利益面におきましては、情報端末「DAMステーション」によるコンテンツサービス（以下、DSサービス）の大幅な損失改善やカラオケ・飲食店舗事業の増益から、営業利益は7,895百万円（同18.5%増）、経常利益は7,989百万円（同16.5%増）となりました。一方、特別損失において非上場株式を含む有価証券の評価損1,899百万円を計上するほか、子会社において発生した元取締役による不正事件につき現時点で予想される損失額652百万円を見積計上したことに伴い中間純利益は2,122百万円（同46.3%減）となりました。

なお、この度の子会社元取締役による不祥事につきましては、これを厳粛に受け止め再発防止に向け取り組んでまいります。株主の皆様にご心配をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

通期の見直し

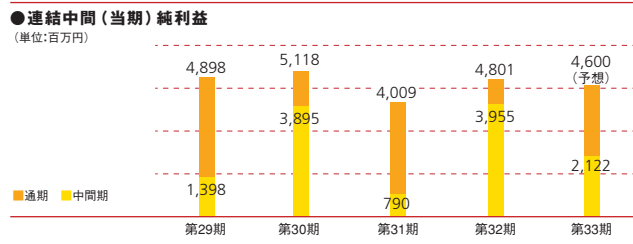
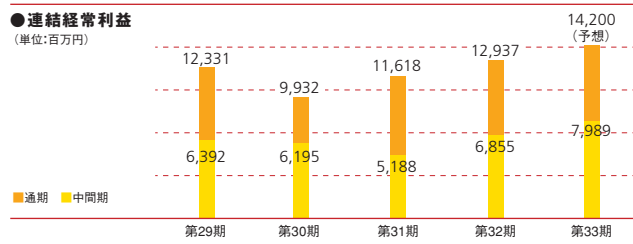
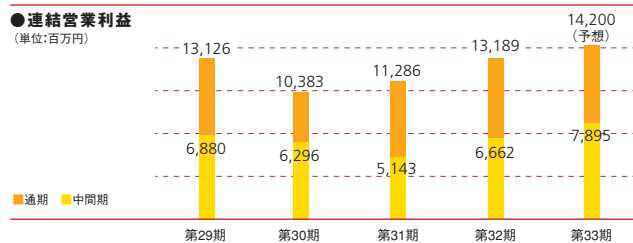
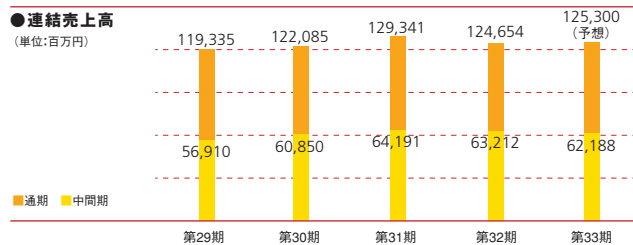
今後の経済環境につきましては、円高や原油価格のほか米国の金融情勢など不透明感が残るものの、景気は緩やかに拡大基調で推移していくものと思われます。

当社を取り巻く事業環境におきましては、業界での競争が依然継続しているものの、カラオケ需要は徐々に回復してきているなど明るい兆しが見えはじめてきております。

このようななか、当社グループにおきましては、主力である業務用カラオケ事業を中心に各事業へ積極的に取り組み、また当社グループが持つエンドユーザーとの接点の強みを活かした事業展開を進め、引き続き安定的な収益基盤の確立に努めてまいります。

通期の業績につきましては、売上高1,253億円、営業利益142億円、経常利益142億円、当期純利益46億円を計画しております。

連結財務ハイライト

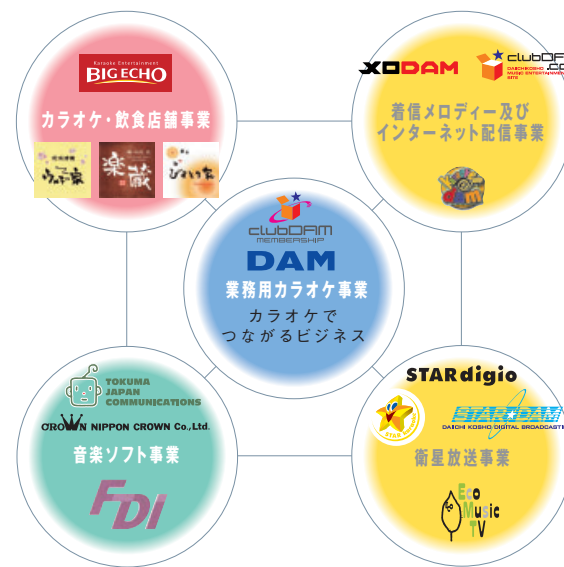


第一興商グループ 事業ドメイン

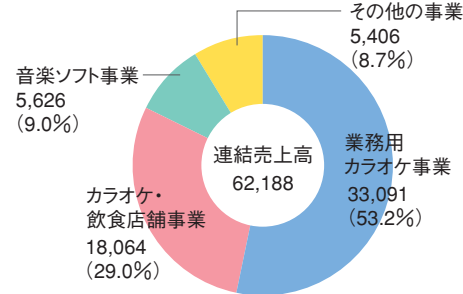
～カラオケを中心としたエンターテインメントを提供～

当中間期より事業の種類別セグメントを以下のとおり変更しております。

1. 従前の「ゲートウェイ事業」に含めておりましたDSサービスを「業務用カラオケ事業」へ変更いたしました。
2. 従前の「ゲートウェイ事業」に含めておりました携帯電話向けコンテンツサービスを「その他の事業」へ変更いたしました。



中間連結売上高構成比 (単位:百万円)



■ 業務用カラオケ事業

業務用カラオケ機器・カラオケソフトの販売及び賃貸、並びに通信カラオケへの音源及び映像の提供を行っております。セグメントは業務用カラオケ事業に属しております。

■ カラオケ・飲食店舗事業

カラオケルーム「ビッグエコー」を223店舗(国内218店・海外5店)、飲食店舗を国内65店舗展開しております。セグメントはカラオケ・飲食店舗事業に属しております。 ※店舗数は2007年9月30日現在

■ 音楽ソフト事業

音楽レコード会社2社、販売会社1社及び映像制作会社1社において音楽・映像ソフトの制作、販売を行っております。また、音楽出版会社4社において著作権管理を行っております。セグメントは音楽ソフト事業に属しております。

■ 着信メロディー及びインターネット配信事業

携帯電話向け着信メロディー配信を中心とした様々なコンテンツ配信サービスを行うほか、カラオケのインターネット配信サービスを行っております。セグメントはその他の事業に属しております。

■ 衛星放送事業

衛星デジタル放送「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとし、テレビ2ch、ラジオ100chのサービスを行っております。セグメントはその他の事業に属しております。

■ その他の事業

主に不動産賃貸事業を行っており、セグメントはその他の事業に属しております。

業務用カラオケ事業

当事業におきましては、当中間期よりDSサービスの事業区分を変更し、今まで以上に当事業と一体化させた事業展開を図ることでDAMの差別化とカラオケ事業の付加価値の向上を目指してまいりました。また4月には新商品「プレミアムDAM (DAM-XG1000)」を発売し、これに合わせエンドユーザーに向けた積極的なPR活動により「DAM」ブランドの訴求と、カラオケ参加者の増加に努めてまいりました。この結果、新商品「プレミアムDAM」は市場から広く認知され高い評価を得ております。

当中間期の商品売上高につきましては新商品の発売時期の遅れなどの影響から前年同期に比べ減少し、また機器賃貸収入につきましても旧機種種の賃貸単価の低下傾向から減少いたしました。一方、情報提供料収入につきましては新

機種を中心に単価が上昇していることから前年同期に比べ増加しております。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比4.9%減少となりましたが、DSサービスの大幅な損失改善のほか、商品の売上原価率の低減により営業利益は前年同期比19.7%増加となりました。

今後の取り組みにつきましては、エンドユーザー向けのPR活動を継続するほか、レコード会社や映画製作会社などの有力なコンテンツホルダーとのアライアンスを強化し「DAM」ブランドの更なる訴求を図るとともに、上期に引き続き新商品「プレミアムDAM (DAM-XG1000)」を中心に「DAM」シリーズの拡販に注力してまいります。

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売上高	34,786	33,091	△1,695	△4.9%
営業利益	5,026	6,014	988	19.7%

主要数値

	単位	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
DAM出荷台数	千台	19	14	△5	△26.3%
機器賃貸契約件数	千件	55	55	0	0.0%
DAM稼働台数	千台	209	212	3	1.4%
(うちブロードバンド稼働台数)	千台	(76)	(84)	(8)	10.5%
DAMステーション稼働台数	千台	18	19	1	5.6%
club DAM MEMBERSHIP会員数	千人	1,380	1,862	482	34.9%

TOPICS (業務用カラオケ事業)

コンテンツの更なる強化

本人出演映像

人気アーティストの映像が続々登場！業界で初めてディズニーキャラクターがカラオケ映像として登場しています。



CHEMISTRY

LIVEカラオケ

人気アーティストのライブツアーがカラオケの背景映像に！圧倒的なスケールで興奮と感動がよみがえります。



矢沢永吉

MOVIE × DAM

話題の映画とDAMのコラボレーション！映画のシーンを背景に主題歌が歌える他、お宝映像などが楽しめます。



©2007映画「未来予想図」製作委員会

MTV × DAM

音楽専門チャンネルMTVのライブ映像がカラオケの背景映像に！その他にもMTVの人気ショートコンテンツが楽しめます。



写真提供：MTV JAPAN

NEW DAMステーション

「歌唱戦士ガンダムSEED SCORE」業界初！「機動戦士ガンダムSEED」の世界観をモチーフにしたカラオケ採点コンテンツ。ここでしか見られないオリジナル映像は必見です。



©創通・サンライズ・毎日放送 ©2007 DAIICHIKOSHO Co.,Ltd.

新商品

デジモフiD (CM1000-DK)

◆特徴

- ・カラーディスプレイ
- ・360度どこからでも転送可能
- ・カラオケ楽曲の検索・表示・予約機能を強化
- ・club DAM MEMBERSHIP会員のログインが可能
- ・「DAMステーション」の無料コンテンツが利用可能

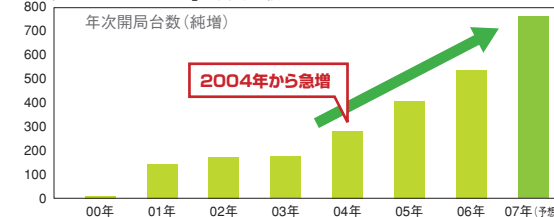
2007年7月発売



エルダー市場の強化

音楽療法の効果が注目を集めるなか、当社が提供する高齢者向け「DKエルダーシステム」は順調に台数を伸ばしております。今後もコンテンツの増強などを行い、介護・福祉施設を中心に導入を進めてまいります。

(台)「DKエルダーシステム」の開局実績



●エルダー開局施設数・・・約2,000施設(2007年9月現在)
DKエルダーシステムとは、福祉・高齢者用音楽療法補助具です。

カラオケ・飲食店舗事業

当事業におきましては、当中間期においてカラオケルーム「ビッグエコー」3店舗の閉店と15店舗を新規出店し、飲食店舗におきましては2店舗の閉店と新業態を含む9店舗を新規出店するなど積極的なスクラップアンドビルドを実施いたしました。この結果、当中間期末現在でビッグエコーが223店舗（国内218・海外5）、飲食店は13ブランドの65店舗（国内65）が稼働しております。このうち、ビッグエコーに飲食店舗を併設する複合型店舗は、それぞれの地域特性に合わせ、ビッグエコー23店舗において飲食8ブランド・30店舗が稼働しております。

当社グループが進める複合型店舗展開は、稼働率の低下した既存店において、その相乗効果による収益の改善など着実に成果を上げております。また新規出店に際しては、従来出店が困難であった立地や地域において、店舗を複合化することにより出店の可能性が広がるなど、当社グループの優位性が発揮できる状況となってまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は、ビッグエコーでの既存店売上高の改善や飲食店舗数が増加したことから前年同期比6.0%増加となり、また原価率の低減や店舗の複合化による収益の向上により出店コストを吸収し、営業利益は前年同期比15.3%増加となりました。

今後の取り組みにつきましては、ビッグエコーや飲食店舗の複合型店舗展開や多店舗展開を進めるほか、飲食メニューを改定するなどサービスの充実を図ってまいります。また、年末年始の繁忙期に向け、11月よりビッグエコーのテレビCM・雑誌広告・店頭プロモーションを本格的に展開しブランド認知に努めるなど集客力の向上と収益の拡大を目指してまいります。さらに7月に新規出店したカラオケ付個室飲食店「楽蔵 うたげ」は飲食業界より注目されておりますが、今後も新業態の店舗開発を進めてまいります。

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売上高	17,046	18,064	1,017	6.0%
営業利益	1,989	2,294	305	15.3%

主要数値

	単位	前中間期	前期末	当中間期	当期増減	当期増減率
ビッグエコー店舗数	店	210	206	218	12	5.8%
(うち複合店舗数)	店	(16)	(19)	(23)	(4)	21.1%
” ルーム数	ルーム	6,209	6,146	6,425	279	4.5%
飲食店舗数	店	56	58	65	7	12.1%
” 座席数	席	6,606	6,702	7,908	1,206	18.0%

(注) 上記数値には海外店舗を含んでおりません。

TOPICS (カラオケ・飲食店舗事業)

多様な店舗展開 ~複合型店舗の更なる拡大~

新店情報 (2007年4月~2007年9月)

出店月	店名	出店業態
4月	方南町店	単独店 ビッグエコー
	成増駅前店	◇ ビッグエコー
5月	銀座店	◇ 飲食「ウメ子の家」
	柏駅前店	◇ ビッグエコー
7月	岡山本町店	◇ 飲食「楽蔵」
	白河店	◇ ビッグエコー
	松戸東口店 八重洲店	複合店 ビッグエコー + 飲食「楽蔵」 単独店 飲食「楽蔵 うたげ」 ●
8月	新小岩店	◇ ビッグエコー
	八王子店	◇ ビッグエコー
9月	中目黒店	◇ ビッグエコー
	調布南口店	複合店 ビッグエコー + 飲食「楽蔵」
	飯田橋店	◇ ビッグエコー + 飲食「びすとろ家」
	博多筑紫口店	◇ ビッグエコー + 飲食「楽蔵」
	岡山本町店	◇ ビッグエコー + 飲食「ウメ子の家」
	札幌駅前店 ^(※1)	◇ ビッグエコー + 飲食「ウメ子の家」 飲食「楽蔵」
	盛岡店	単独店 ビッグエコー
	新宿東口店	複合店 ビッグエコー + 飲食「楽蔵」
計	ビッグエコー:15 飲食:9 (単独店:11 複合店 ^(※2) :7)	

(※1) 但し、飲食店は10月にオープン
(※2) ビッグエコーに飲食店を併設した店舗

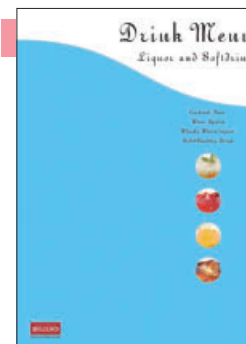
複合型店舗出店によるメリット

- ◎出店可能性の拡大 → 出店数の増加
- ◎スペースの有効利用 → 収益アップ
- ◎厨房などの共有化 → コストダウン効果

新業態



7月25日にオープンした新業態店舗。全席個室34室! (カラオケ付個室もあり。) 宴会後の二次会も場所を移さずOK。和の伝統とモダンイズムが融合した空間でプレミアムなひと時を皆様へ…。



お客様のニーズの多様化にあわせ、ビールやカクテル等の定番ドリンクから低アルコールやノンアルコール飲料までメニューを充実させました。また、「見易さ・選び易さ」に配慮し、写真を多く取り入れたブックタイプに刷新しました。

「ビッグエコードリンクメニュー」 ~総合飲料メニューへの挑戦~ NEW

ポイント

- ◎従来:全125品 → 現在:全212品
- ◎メニューアイテム写真増
- ◎ヘルシーカクテル、デザートカクテルなどのオリジナルドリンクを導入



ノンアルコール飲料「ブルベリー」



ヘルシーカクテル「焼酎カテキンハイ」



パワフルサワー「ローヤルゼリー・黒糖サワー」



デザートカクテル「カシスロイヤル」

音楽ソフト事業

当事業におきましては、音楽CD市場が厳しい状況で続いておりますが、レコード子会社である日本クラウン(株)の「Gackt」や(株)徳間ジャパンコミュニケーションズの「水森 かおり」をはじめとする主力アーティストの商品販売のほか、映像ソフト「ゲド戦記」が健闘いたしました。また、レコード子会社がかもつ旧譜の音楽配信による着実な収益への貢献もありました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比3.6%減少となりましたが、経営の効率化を図り営業コストが減少した

ことにより営業利益は前年同期に比べ約6.6倍と大幅な増加となりました。

今後の取り組みにつきましては、更なる経営の効率化を図り黒字の定着化を目指してまいります。また新人アーティストの発掘・育成及びヒット曲の創造につきましては、引き続き当社グループの総合力を活かした積極的なプロデュース活動を展開してまいります。

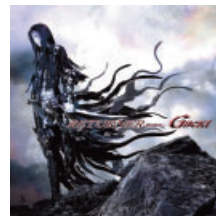
(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売上高	5,834	5,626	△207	△3.6%
営業利益	29	192	163	557.0%

TOPICS (音楽ソフト事業)

■Gackt

日本人初!世界22カ国のiTunes Storeで全曲配信をスタートしたGackt。通算27枚目となるシングル「RETURNER～闇の終焉～」は発売翌週オリコンシングルチャートにて初登場1位を獲得。Gacktが放つ独特の世界観を思う存分表現しているこの曲のプロモーションビデオも要チェック!



CROWN NIPPON CROWN Co., Ltd.

■北島三郎

これぞ!ジャパニーズ・ソウル! 映画「SUKIYAKI WESTERN ジャンゴ」の主題歌をあの北島三郎が熱唱!! 一味違う“歌魂”を注入した「ジャンゴ～さすらい～」をお聞かせください。ニューシングル「ひとすじ」そして「北島三郎全曲集」も好評発売中!



CROWN NIPPON CROWN Co., Ltd.

■Perfume

10代の女の子3人が結成した“近未来テクノポップユニット”Perfume! NHK環境リサイクルキャンペーンソングとして使われた「ポリリズム」がオリコンウィークリーチャート初登場7位を記録。一躍ブレイクが期待されている彼女たちに今後も注目!



TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS

その他の事業

当事業におきましては、「スカイパーフェクTV!」をプラットフォームとする衛星放送事業や携帯電話向けコンテンツサービスのほか、不動産賃貸事業を含むその他の事業を行っております。

衛星放送事業におきましては、加入者数は減少傾向にありますが、コストコントロールの継続によって安定した収益を確保しております。携帯電話向けサービスにおきましては、「着信メロディー」の加入者数が減少する一方、「着うた®」「着うたフル®」はサービス内容を強化・充実したことに伴い着実に増加してきております。また、当事業におきましてもコストコントロールによって安定収益を確保

しております。不動産賃貸などその他の事業は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期比2.5%減少となり、また前期に開始した新規事業の営業費用が増加したことから営業利益は前年同期比4.3%減少となりました。

今後の取り組みにつきましては、携帯電話向けコンテンツサービスや衛星放送事業において安定収益を確保する一方、業容の拡大と収益の増大を目指した事業の新たな可能性と需要の創出に積極的に取り組んでまいります。

(注)「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	対前期増減	増減率
売上高	5,545	5,406	△138	△2.5%
営業利益	984	942	△42	△4.3%

ホームページのご案内



clubDAM.com



IR情報-財務情報

当社のホームページでは、企業情報をはじめ、投資家の皆様に役立つIR情報、DKニュース・キャンペーン等をお知らせするDK Reportなど、様々な情報を掲載しております。また、イベントやエンターテインメント情報満載の「clubDAM.com」にもリンクしていますので、ぜひご覧ください。

<http://www.dkkaraoke.co.jp/>

POINT

流動資産

流動資産の減少2,810百万円は現金及び預金の減少4,175百万円、たな卸資産の増加714百万円、受取手形及び売掛金の増加571百万円が主なものであります。

固定資産

固定資産の減少1,277百万円は投資有価証券の減少3,098百万円、土地の増加1,425百万円、カラオケルーム及び飲食店舗設備の増加1,345百万円が主なものであります。

流動負債

流動負債の減少2,919百万円は短期借入金の減少3,871百万円、その他流動負債の増加592百万円、支払手形及び買掛金の増加423百万円が主なものであります。

固定負債

固定負債の減少798百万円は役員退職慰労引当金の減少608百万円、長期借入金の減少243百万円が主なものであります。

■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	第33期中間 2007年9月30日現在	第32期 2007年3月31日現在	対前期末 増減額
資 産 の 部			
流動資産	49,400	52,210	△ 2,810
固定資産	77,442	78,720	△ 1,277
有形固定資産	46,544	44,318	2,225
無形固定資産	5,871	6,074	△ 202
投資その他の資産	25,026	28,327	△ 3,300
資産合計	126,842	130,931	△ 4,088
負 債 の 部			
流動負債	34,024	36,943	△ 2,919
固定負債	24,400	25,198	△ 798
負債合計	58,424	62,142	△ 3,717
純 資 産 の 部			
株主資本	69,114	68,384	729
資本金	12,350	12,350	—
資本剰余金	24,003	24,003	—
利益剰余金	36,402	35,671	730
自己株式	△ 3,641	△ 3,641	△ 0
評価・換算差額等	△ 1,635	△ 493	△ 1,142
その他有価証券評価差額金	△ 1,062	123	△ 1,185
土地再評価差額金	△ 845	△ 845	—
為替換算調整勘定	271	229	42
少数株主持分	939	897	42
純資産合計	68,418	68,788	△ 370
負債及び純資産合計	126,842	130,931	△ 4,088

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	第32期中間 2006年4月 1日から 2006年9月30日まで	第33期中間 2007年4月 1日から 2007年9月30日まで	対前年同期比 (%)
● 営業収益	63,212	62,188	98.4
営業費用	56,594	54,286	95.9
割賦販売未実現利益	45	△ 7	
● 営業利益	6,662	7,895	118.5
営業外収益	902	870	
営業外費用	710	776	
経常利益	6,855	7,989	116.5
特別利益	115	307	
特別損失	488	3,025	
税金等調整前中間純利益	6,483	5,271	81.3
法人税、住民税及び事業税	1,776	3,195	
法人税等調整額	722	△ 90	
少数株主利益	28	44	
中間純利益	3,955	2,122	53.7

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第32期中間	第33期中間
1. 有形固定資産の減価償却累計額	48,885百万円	51,008百万円
2. 保証債務	766百万円	620百万円
3. 担保提供資産	15,008百万円	9,336百万円
上記に対応する債務	9,940百万円	6,159百万円
4. 1株当たり中間純利益	56円82銭	30円49銭
5. 1株当たり純資産額	972円26銭	969円51銭

POINT

営業損益(●)

カラオケ・飲食店舗事業は増収となったものの、業務用カラオケ事業の減収により営業収益は前年同期比98.4%、62,188百万円となりました。一方、利益面におきましては、情報端末「DAMステーション」によるコンテンツサービスの大幅な損失改善やカラオケ・飲食店舗事業の増益により営業利益は前年同期比118.5%、7,895百万円となりました。

中間純利益

特別損失において非上場株式を含む有価証券の評価損1,899百万円を計上するほか、子会社において発生した元取締役による不正事件につき現時点で予想される損失額652百万円を見積計上したことに伴い中間純利益は前年同期比53.7%、2,122百万円となりました。

■ 連結決算概要

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前中間純利益
5,271百万円
- ・減価償却実施額
6,736百万円
- ・投資有価証券評価損
1,899百万円
- ・法人税等の支払額
3,214百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による支出
6,587百万円
- ・無形固定資産の取得による支出
2,038百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入金の返済による支出
6,666百万円
- ・長期借入による収入
5,300百万円
- ・短期借入金の純増減額の支出
2,757百万円

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第32期中間 2006年4月1日から 2006年9月30日まで	第33期中間 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,572	10,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,058	△ 9,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,388	△ 5,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	27
現金及び現金同等物の増減額	3,150	△ 4,158
現金及び現金同等物の期首残高	24,222	31,918
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,372	27,759

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結株主資本等変動計算書

第33期中間(2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他有価証 券評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	12,350	24,003	35,671	△ 3,641	68,384	123	△ 845	229	△ 493	897	68,788
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 1,391		△ 1,391						△ 1,391
中間純利益			2,122		2,122						2,122
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 1,185	—	42	△ 1,142	42	△ 1,100
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	730	△ 0	729	△ 1,185	—	42	△ 1,142	42	△ 370
2007年9月30日残高	12,350	24,003	36,402	△ 3,641	69,114	△ 1,062	△ 845	271	△ 1,635	939	68,418

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 単体決算概要

■ 中間単体貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	第33期中間 2007年9月30日現在	第32期 2007年3月31日現在	対前期末 増減額
資産の部			
流動資産	27,677	29,424	△ 1,747
固定資産	49,538	50,775	△ 1,236
有形固定資産	19,031	16,868	2,163
無形固定資産	5,263	5,464	△ 201
投資その他の資産	25,243	28,442	△ 3,199
資産合計	77,215	80,200	△ 2,984
負債の部			
流動負債	17,320	17,340	△ 19
固定負債	8,553	10,670	△ 2,116
負債合計	25,874	28,010	△ 2,136
純資産の部			
株主資本	53,252	52,918	334
資本金	12,350	12,350	—
資本剰余金	24,003	24,003	—
利益剰余金	20,540	20,206	334
自己株式	△ 3,641	△ 3,641	△ 0
評価・換算差額等	△ 1,910	△ 729	△ 1,181
その他有価証券評価差額金	△ 1,065	116	△ 1,181
土地再評価差額金	△ 845	△ 845	—
純資産合計	51,341	52,189	△ 847
負債及び純資産合計	77,215	80,200	△ 2,984

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間単体損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	第32期中間 2006年4月1日から 2006年9月30日まで	第33期中間 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	対前年同期比 (%)
営業収益	43,715	42,408	97.0
営業費用	39,430	37,220	94.4
割賦販売未実現利益	8	△ 1	
営業利益	4,293	5,186	120.8
営業外収益	994	949	
営業外費用	215	146	
経常利益	5,072	5,988	118.1
特別利益	107	269	
特別損失	424	2,311	
税引前中間純利益	4,755	3,947	83.0
法人税、住民税及び事業税	755	2,033	
法人税等調整額	1,144	188	
中間純利益	2,856	1,725	60.4

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〈注記事項〉

1. 有形固定資産の減価償却累計額 23,394百万円 23,985百万円
2. 1株当たり中間純利益 41円04銭 24円79銭
3. 1株当たり純資産額 767円12銭 737円67銭

■ 中間株主資本等変動計算書

第33期中間(2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等			純資産 合計		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の利益剰余金	利益剰余金合計			その他有価証 券評価差額金	土地再評 価差額金	評価・換算 差額等合計			
2007年3月31日残高	12,350	4,002	20,000	24,003	16,603	3,603	20,206	△ 3,641	52,918	116	△ 845	△ 729	52,189
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当							△ 1,391	△ 1,391	△ 1,391				△ 1,391
中間純利益							1,725	1,725	1,725				1,725
自己株式の取得							△ 0	△ 0	△ 0				△ 0
吸収分割					1		1		1				1
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)										△ 1,181	—	△ 1,181	△ 1,181
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	1	333	334	△ 0	334	△ 1,181	—	△ 1,181	△ 847
2007年9月30日残高	12,350	4,002	20,000	24,003	16,604	3,936	20,540	△ 3,641	53,252	△ 1,065	△ 845	△ 1,910	51,341

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株式の状況(2007年9月30日現在)

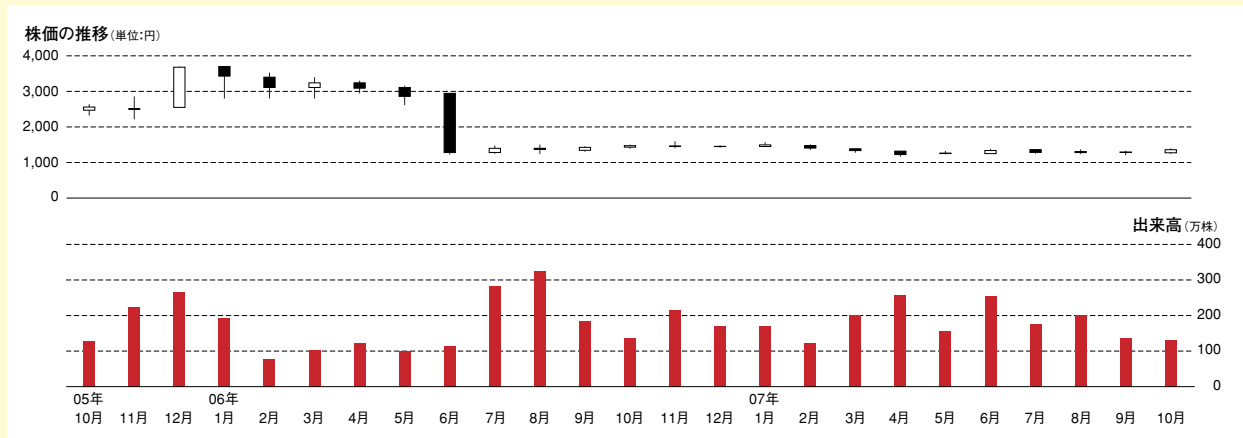
発行可能株式総数 200,000,000株 発行済株式の総数 73,242,596株 株主数 8,945名

■大株主

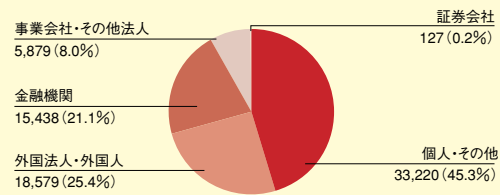
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
保志忠 郊	8,069	11.6
保志治 紀	8,020	11.5
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,046	7.2
(有)ホシ・クリエート	4,375	6.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,074	5.8
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,884	4.1
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	1,919	2.7
メロンバンクトリートリークライアントムニバス	1,614	2.3
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148	1.6
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	1,024	1.4

1. 当社は、自己株式3,642千株を保有しておりますが、議決権がないため上記株主から除いております。
2. 持株数、議決権比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

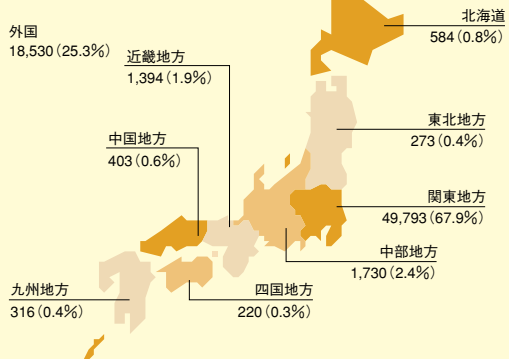
■株価(月足)チャート



■所有者別株式分布(単位:千株/構成比)



■地域別株式分布(単位:千株/構成比)



■会社概要

会社概要(2007年9月30日現在)

商号 株式会社 第一興商
(英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地 〒141-8701東京都品川区北品川5-5-26
TEL. (03) 3280-2151 (大代表)
設立 1973年4月16日
資本金 12,350百万円
従業員数 当社 1,446名
グループ 3,311名
JASDAQ上場 1995年9月19日
ホームページアドレス <http://www.dkkaraoke.co.jp/>

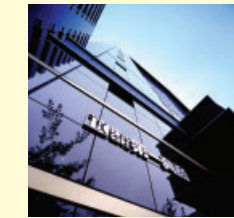
役員(2007年9月30日現在)

代表取締役社長	兼 上席執行役員	和田 康孝
専務取締役	兼 上席執行役員	青柳 三郎
常務取締役	兼 上席執行役員	林 英爾
常務取締役	兼 上席執行役員	畑本 賢治
常務取締役	兼 上席執行役員	根谷 達也
取締役	兼 執行役員	熊谷 井裕
取締役	兼 執行役員	村三 富志
取締役	兼 執行役員	保吉 川忠
取締役		清水 義美
取締役		清掛 水川
取締役		高瀬 瀨信
取締役		有田 近真
取締役		有馬 伸治
取締役		三宅 末俊
取締役		黒川 憲太郎
取締役		大久保 嘉英
取締役		鈴木 剛

第一興商グループ

当社及び連結子会社
(2007年9月30日現在)

46社



- 主な事業内容
- 業務用カラオケ事業
 - カラオケ・飲食店舗事業
 - 音楽ソフト事業

■国内販売子会社 26社

(株)北海道第一興商	(株)埼玉第一興商	(株)東海第一興商
(株)釧路第一興商	(株)城北第一興商	(株)北陸第一興商
(株)道南第一興商	(株)台東第一興商	(株)京都第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)第一興商近畿
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)京阪第一興商
(株)福島第一興商	(株)湘南第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)常磐第一興商	(株)新潟第一興商	(株)九州第一興商
(株)群馬第一興商	(株)長野第一興商	(株)沖縄第一興商
(株)栃木第一興商	(株)静岡第一興商	

■その他国内子会社 10社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ディーケー音楽出版
日本クラウン(株)	(株)クラウンミュージック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	(株)ズームリパブリック
(株)ファーストディストリビューション	ユニオン映画(株)
(株)トライエム	丸萩洋酒工業(株)

■海外子会社 10社

(株)韓国第一興商	上海必愛歌音楽餐飲有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	上海星歌音楽餐飲有限公司
第一興商電子貿易(上海)有限公司	上海申歌音楽餐飲有限公司
DAIICHIKOSHO(SINGAPORE) PTE LTD.	D.K.ENTERPRISES(GUAM), INC.
SAHA DAIICHIKOSHO CO., LTD.	第一興商(北京)音楽文化有限公司

- (注)1. DAIICHIKOSHO (SINGAPORE) PTE LTD.は休眠会社であります。
2. 2007年11月に(株)北海道第一興商と(株)道南第一興商は、(株)北海道第一興商を存続会社として合併し、(株)道南第一興商は合併により解散しております。

BIG ECHO プロモーション展開

若い女性から圧倒的に支持されるモデル5名を起用してテレビCMを中心に、雑誌広告、店頭などでプロモーションを展開!

「わたしを、うたおう。」のコピーと赤い“ハートのキービジュアル”でブランド認知と来店促進を図ってまいります。



左から
重泉充香(しげいずみ・みか)
Nanami(ななみ)
浦浜アリス(うらはま・ありさ)
Sugaho(すがほ)
陸守絵麻(りくもり・えま)

「わたしを、うたおう。」

「上手いとか下手ではない自己そのものの表現」「日常からの自己解放」というカラオケの新しい「うたうことの楽しさ」を表現

“ハートのキービジュアル”

ビッグエコーの新しいシンボルとして「お洒落で、キレイ」「親近感・共感性のある場所」を表現したハートマークを、ショップイメージカラーである赤と白で構成



土屋アンナ×Premier DAM プレミア アンナキャンペーンを実施

今年4月に発売した「プレミアDAM」で「即席カラオケCDプレス」をご利用の方全員にハズレなしの大規模キャンペーンを実施。

CMイメージキャラクター土屋アンナとのコラボレート企画です。この機会にぜひ、「即席カラオケCDプレス」をお楽しみください。

「即席カラオケCDプレス」とは・・・

自分の歌ったカラオケをCDに録音できるサービス



応募シールで
ケータイから
アクセス



全員GET!

土屋アンナ
待受画面



・写真はイメージです。
土屋アンナ
トークライブ招待券



オリジナル
Baby-G

A賞
200組400名様

B賞
1,000名様

キャンペーン期間
2007年11月1日 ▶ 2008年1月31日

全日本カラオケグランプリ2007

今年で3回目を迎える国内最大級のカラオケイベント「全日本カラオケグランプリ2007」が11月23日(金・祝)に開催されました。

全国各地区からの代表18組が優勝の座を懸けて熱唱する姿はプロ顔負け。今回もハイレベルなステージとなりました。

アマチュアシンガーNo.1に輝くのは誰か? 大会の様子は、12月にテレビ放映を予定しています。ぜひご覧ください。



決勝大会テレビ放映

テレビ東京系列6局ネット

12月16日(日)16:00~17:15(予定)

司会:中山秀征 大江麻理子(テレビ東京アナウンサー)

ゲスト:美川憲一ほか

第一興商CUP 第33回 平尾昌晃チャリティゴルフ

大会のチャリティ寄金は、音楽を中心とした福祉活動に役立させていただきます。

第一興商協賛の「平尾昌晃チャリティゴルフ」が9月に開催されました。

今年は、4,174名のギャラリーが見守るなか、芸能人・著名人・男女プロゴルファー総勢174名がナイスプレーを繰り広げました。

ギャラリープラザでは、チャリティバタゲームやカラオケ歌唱コンテスト、ステージイベントなどが行われ、大会は大いに盛り上がりました。

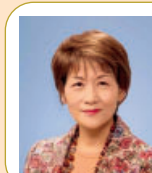
大会で集まったチャリティ寄金は、平尾昌晃チャリティゴルフ実行委員会から「NPO法人ラブ&ハーモニー基金」に寄付され、老人介護施設などへの慰問や寄贈、ふれあいコンサートなどの開催、災害地支援への援助活動などに役立させていただきます。



「カラオケで歌って踊ってイキイキ介護」

春日くに子先生をはじめ、音楽を積極的に取り入れた介護の場での声も多数取り入れながら、カラオケが高齢者や障害者の方々にもたすりハビリ効果を紹介する冊子を作成いたしました。

また、福祉・介護施設ですぐに実践できるカラオケの活用方法などもあわせて紹介しております。今後もカラオケの有効な活用方法を積極的に提案してまいります。



春日くに子

歌手・日本音楽療法学会認定音楽療法士・介護福祉士・介護予防運動指導員

音楽療法士、介護福祉士として介護施設や障害者施設などでカラオケを使った音楽レクリエーションに取り組んでいる。